



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和4年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和4年2月17日

事業名	景観に配慮したまちづくりの推進	予算(案)の概要	104 ページ
予算額	令和4年度予算額 14,229 千円 (前年度予算額 17,453 千円)	(継続)	
取材先	都市計画部景観・まちづくり課長 蓮見 (電話 03-5273-3549)		

新宿区景観まちづくり計画 景観形成ガイドラインの改定に取り組んでいます

1. 現状の課題

平成21年の景観まちづくり計画策定から10年以上が経過し、

- デジタルサイネージ等新たな広告物の普及
- 新型コロナウイルスの感染拡大等

社会情勢や、まちなみに大きな変化が生じている。



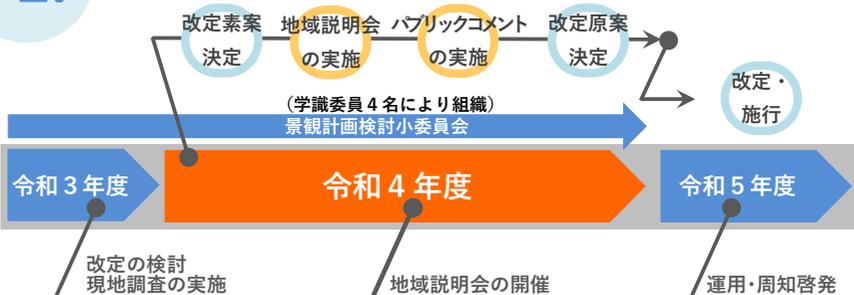
新宿駅西口の夜間景観



新宿御苑からの眺望

計画・ガイドラインの改定に取り組んでいます

2. スケジュール



3. 主な改定内容

超高層ビル群のスカイラインに関する景観形成 拡充

▶大規模開発等によるまちの現況の変化に対応するため、超高層ビルの景観形成方針を改定します。

大規模建築物等に係る景観形成 拡充

▶景観への影響が大きい大規模建築物等について、景観まちづくり審議会への報告を景観まちづくり計画に位置付けます。

夜間の景観形成 新規

▶良好で地域の個性を活かした夜間景観を創出するため、夜間の景観形成方針を新規に追加します。

新たな屋外広告物に関する景観形成 拡充

▶デジタルサイネージやプロジェクションマッピングなどの新たな広告媒体に対応するため、屋外広告物に関する景観形成ガイドラインを改定します。

公共空間の景観形成 新規

▶コロナ禍を契機としたゆとりある公共空間創出のため、公共空間に関する景観形成方針を新規に追加します。

街並みやみどりの変化への対応 拡充

▶新宿区内を72エリアに分け、令和3年度に区内大学等の協力を得て実施した現地調査を基に、各エリアの景観特性や景観形成の方針を改定します。



風情が感じられる夜間景観



ゆとりある歩行者空間